

## (農林水産大臣賞)

- ・応募主体 愛知県田原市、グリーンサイトジャパン株式会社
- ・都道府県・市町村 愛知県田原市
- ・取組分野 BDF等燃料(炭化)

## 取組概要

PFI方式により可燃ゴミから燃料代替品や保温材代替品を製造。

グリーンサイトジャパン(株)が施設の運営を行う田原リサイクルセンター炭生館は、100%民間出資の特別目的会社が建設・管理運営するPFI方式によるごみ処理の施設であり、平成17年4月から運転を開始している。

バイオマス利活用におけるPFI方式の導入において先駆的な取り組みであり、これまで田原市が実施してきたRDF製造方式を従来型の公共事業で実施した場合と比べ、可燃ゴミ処理場建設費・管理運営費等のコストを約30%節約している。また、計画段階から生成物の利用者をPFI事業者に取り込み、利活用先を確保している。

田原市から排出される可燃ゴミ約16,000t/年の全量を受け入れ、流動床式炭化炉にて炭化処理(約1,200t/年予定)し、コークスや保温材の代替品として県内の製鋼所に販売している。炭化方式の採用により、従来の焼却方式と比べ、可燃ゴミ処理施設や炭化物を利用する製鋼所における電力消費量、補助燃料の使用量を節約し、可燃ゴミの処理に伴って生じる地球温暖化ガスを50%以上低減している。

本施設は斬新な建築デザインの採用、ビオトープの設置、一般見学者が自由に見学できるスペースの設置、ホームページによる排気ガスの排出状況等の情報公開、排気ガスの排出基準を法規制より厳しく設定している等、最先端の資源化施設である。

